北海道奥尻高等学校　令和７年度

シラバス

2

氏名：

科目名	論理国語	２学年・必修	使用教科書	第一学習社　「高等学校標準　論理国語」
		単位数：２単位	使用副教材	第一学習社「標準論理国語　学習課題ノート」 新盤完全征服　頻出現代文重要語７００三訂版

学習目標	この教科では、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指します。 ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ② 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
学習方法	●授業ではプリントを使用します。各自で綴じ込むファイルを用意して下さい。各者査後にプリント提出を課します。●授業で取り扱う「課題」には、個人でもグループでも、積極的に参加し、最後まできっちりやり抜いて下さい。●週に１回授業の初めに小テストを行います。●単元終了後に単元テストを行います。●単元の中で語意や内容に関する宿題を課します。●教科書とプリントは毎回必ず持参して下さい。忘れ物をしてしまったときは、必ず朝のうちに職員室に来て申し出て下さい。授業開始時に申し出ても対応できません。●授業中の私語は周囲に迷惑をかける行為です、慎んで下さい。●学習の様子を見て、任意参加の補習授業を実施することがあります。もし、事前に希望がある場合には遠慮せずに申し出て下さい。●授業についていけず不安になった時は、遠慮せずに話して下さい。手立てを一緒に考えましょう。●授業に関する質問はいつでも受け付けていますので、遠慮せずに聞いて下さい。

学習評価	評価の観点		評価の観点の説明
	Ⅰ	知識・技能	・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
	Ⅱ	思考・判断・表現	・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

他教科との関連性	該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
	言葉と文化 名所絵はがきの東西	地理総合	・ヨーロッパにおける町並みや歴史的建造物について、どのような文化観・宗教観から形づくられているのか、またどのよう外観をしているのかについて、調べることができる。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Ciku-hiriety 5.0
前期	4	世界地図と世界観について考えよう（毛利衛「新しい地球観」）	4	･オーサグラフ地図の特徴を捉え、筆者が述べる「新しい世界観」との関連について考察する。	次の観点で評価します。 ・オーサグラフ地図の特徴を捉え、筆者が述べる「新しい世界観」との関連について考察できているか。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしているか。 ・積極的に本文や図版を照合し、筆者の主張を捉えようとしているか。	探究心
	5	ものの数え方を通して日本語の特徴を考えよう（飯田朝子「数え方で磨く日本語」）	8	･具体例をもとに日本語のものの数え方の性質や文化的特徴を理解し、日本語感覚を磨く。	次の観点で評価します。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしているか。 ・具体例をもとに日本語のものの数え方の性質や文化的特徴を理解し、日本語感覚を磨いているか。 ・「数え方の持つ情報をうまく利用」した短い広告のコピーを粘り強く考え、積極的に発表しようとしているか。	言語力
	6	ことわざの誤用を通して言葉に関する知識を深めよう（俵万智「情けは人の……」）	8	・本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。	次の観点で評価します。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしているか。 ・本文に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取っているか。 ・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	言語力
	7	資料の集め方や整理の仕方を学ぼう（レポートを書く「資料を集めて情報を分析する」）	4	・目的に応じた資料を適切に探す方法を理解する。 ・資料の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解する。 ・集めた情報を的確に整理する方法を理解する。	次の観点で評価します。 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえているか。 ・積極的に資料の信頼性や妥当性を確かめ、目的や意図に応じて選別しようとしているか。	情報収集力
	8	情報から事実を読み取り、問題点を明確にしよう（レポートを書く「得られた情報を分析して報告するテーマを絞り込む」）	3	・資料から客観的な実態を取り出す方法を理解する。 ・得られた情報から疑問点をあげていく方法を理解する。 ・疑問点を整理してテーマを絞り込む方法を理解する。	次の観点で評価します。 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めているか。 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしているか。	課題発見力
	9	東西の文化の違いを通して日本人の自然観や美意識を考えよう（高階秀爾「名所絵はがきの東西」）	7	・絵はがきを例に筆者が東西の自然観をどのように捉えているか把握し、自分の考えを深める。	次の観点で評価します。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めているか。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握しているか。 ・積極的に名所絵はがきの特徴を理解し、筆者の主張と照合して説明しようとしているか。	課題発見力
後期	10	二種類の文章を読み比べて必要な情報を読み取る方法を学ぼう（法に関わる文章を読み比べる）	8	・二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を学ぶ。	次の観点で評価します。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理できているか。 ・二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を学んでいるか。 ・異なる形式で書かれた複数の実用的な文章を粘り強く読み、解釈したことを学習課題に沿ってまとめようとしているか。	当事者意識
	11	学術的な論理の展開と情報の扱い方の基礎を学ぼう（長谷川眞理子「ヒトはなぜヒトになったか」）	8	・因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握し、ヒトの進化の過程を理解する。	次の観点で評価します。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにできているか。 ・因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握し、ヒトの進化の過程を理解できているか。 ・本文中の表現について、粘り強く適切な意味を把握し、説明しようとしているか。	言語力
	12	論理的な文章の読解方法を確認しながら、評論の学習を深めよう（榎本博明「鏡としての他者」）	6	・文章構造をもとに筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を考える。	次の観点で評価します。 ・文章の構成や展開の仕方について理解を深めているか。 ・文章構造をもとに筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を考えているか。 ・積極的に指示的な語句の効果を考え、説明しようとしているか。	メタ認知
	1	実用文の書き方のルールを学ぼう（ボランティアへの参加を伝えるメールの文章を検討する）	3	・実用文には書き方のルールがあり、場面や目的に応じて書き方に工夫が必要な点を理解する。	次の観点で評価します。 ・実用文には書き方のルールがあり、場面や目的に応じて書き方に工夫が必要な点を理解しているか。 ・情報と情報の関係について理解を深め、情報を階層化して整理できているか。 ・実用文の書き方が場面や目的によって異なることを積極的に把握しようとしているか。	実践力
	2	生物の生存戦略に関する筆者の主張を読み取ろう（板垣栄洋「進化が導き出した答え」）	6	・生物の進化における多様化について理解し、それを人間の生き方に照らして考えを深める。	次の観点で評価します。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深めているか。 ・生物の進化における多様性について理解し、それを人間の生き方に照らして考えを深めることができているか。 ・本文の内容を人間の世界に当てはめた場合の生き方について粘り強く考え、文章にまとめて発表しようとしているか。	思考・判断・表現力
	3	情報を取捨選択し、問いから答えに至る道筋が明確になるような構成の方法を学ぼう（レポートを書く「構成を考えてレポートを書く」）	5	・資料をもとに考えを整理する方法を理解する。 ・レポートのアウトラインを作成する方法を理解する。	次の観点で評価します。 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めているか。 ・資料をもとに考えを整理する方法を理解できているか。 ・レポートのアウトラインを作成する方法を理解できているか。	分析・判断力
通年	4～3	新版完全征服 頻出現代文重要語７００三訂版	週１	・毎週１回、１２ページ程度を範囲として授業の最初で小テストを行う。 ・一般常識の言葉や慣用句、熟語の意味、漢字の読み書きを覚え、語彙力を身につける。	・小テストの結果は、評価（知識・理解）に組み込んでいきます。 ・語彙力を高めるために、隙間時間を見つけて副教材を読んで覚えよう。	言語力

科目名	地理総合	２学年・必修	使用教科書	高校生の地理総合　帝国書院・新詳高等地図　帝国書院
		単位数：２単位	使用副教材	高校生の地理総合ノート　帝国書院

学習目標

社会的事象を地理的に考察する力を養い、グローバル社会で主体的に生きる力を養う

知識・技能　　：世界の文化や環境問題などの地球的課題を理解することができる。地図やデータを調べて情報を収集し活用することができる。
思考力・判断力・表現力：地域の特徴や環境との関係を深く考え、地理の課題について、解決策を考えて伝えることができる。
学びに向かう力・人間性：自然災害や環境問題など、社会の課題を考えることができる。日本や世界の各地域を大切にし、多様性を尊重することができる。

学習方法

・講義形式の授業とグループワーク等を併用して授業を展開します。
・毎回の授業を大切に、真剣に受講してください。講義を聞く姿勢やグループワークへの参加態度次第で知識の定着具合や思考力の伸び幅に大きな差が出ます。
・教科書に出てくる用語は漢字でしっかりと書けるように努力しましょう。
・「暗記」するのではなく１つの１つの内容を整理して論理的に考え、「理解」するよう努めましょう。

学習評価

評価の観点		評価の観点の趣旨
Ⅰ	知識・技能	世界の生活文化の多様性、防災、地球的課題に対する取り組みを理解し、定着させている。地図やGIS（地理情報システム）を活用し、情報を適切に調べ、整理することができる。
Ⅱ	思考・判断・表現	地形や気候等の位置や分布、人間と自然環境の関係などに注目し、様々な角度から考察することができる。地理的な課題の解決策を考え、説明し、議論することができる。
Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	地理的な課題に関心を持ち、よりよい社会の実現を目指して学ぶことができている。日本や世界の地域に対する理解を深めようとしている。

他教科との関連性

該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
第一章２節 地図と地理情報システム	情報Ⅰ	地図の見方や分布図の読み方を授業で理解し、Webサイトの地図やアプリでの位置情報をもとにGISを読み解く技術を身につける。タブレット端末等を活用し、授業で提示された課題について自分が住む地域と関連させながらまとめる技術を向上させる。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushirlety 5.0
前期	4	第1部第1章 地図や地理情報システムと現代社会	4	1　地球儀と地図 2　地図と地理情報システム	タブレット端末等を活用しながら、地図の読みとき方や情報収集の技能を身につける	分析・判断力
	5	第１部第２章 結びつきを深める現代社会	8	1　現代社会の国家と領域 2　地図から見る国内や国家間の結びつき	国際社会の結びつきの強さや交流について、地図をもとにしながら理解する	思考・判断・表現力
	6	第２部第１章 生活文化の多様性と国際理解	6	1　世界の地形と人々の生活 2　世界の気候と人々の生活	世界の様々な地形、気候を学んで多文化社会が成立するきっかけを理解する	思考・判断・表現力
	7	第２部第１章 生活文化の多様性と国際理解	6	1　世界の産業と人々の生活 2　世界の宗教・民族・言語と人々の生活 3　多様な生活文化と地理的環境	世界における産業、宗教などを学び、多種多様な生活環境の実態を把握する	情報活用能力
	8・9	第２部第１章 生活文化の多様性と国際理解	10	1　東アジア 2　東南アジア 3　インド	既習の内容を踏まえて、実際に世界各国の暮らしの様子について気候や地形と関連させながらまとめる能力を身につける	情報活用能力
後期	10	第２部第１章 生活文化の多様性と国際理解	8	1　中央アジア・西アジア・北アフリカ 2　サハラ以南アフリカ 3　ヨーロッパ	既習の内容を踏まえて、実際に世界各国の暮らしの様子について気候や地形と関連させながらまとめる能力を身につける	情報活用能力
	11	第２部第１章 生活文化の多様性と国際理解	8	1　ロシア 2　アメリカ合衆国 3　ラテンアメリカ 4　オセアニア	既習の内容を踏まえて、実際に世界各国の暮らしの様子について気候や地形と関連させながらまとめる能力を身につける	情報活用能力
	12	第２部第２章 地球的課題と国際協力	8	1　人口問題 2　食料問題 3　都市・居住問題 4　感染症・衛生問題 5　資源・エネルギー問題 6　地球環境問題	現代社会を取り巻く諸問題について、地理的側面から考察する能力を養う	探究心
	1・2	第３部第１章 自然環境と防災	6	1　日本の自然環境 2　地震・津波や火山活動による災害と防災 3　気象災害と防災 4　自然災害への備え	ハザードマップなどを用いながら、自然災害や天変地異に対する当事者意識を形成する	当事者意識
	3	第３部第２章 生活圏の調査と地域の展望	6	1　地理的な調査テーマの設定 2　事前調査と現地調査 3　調査結果の分析と仮説の検証 4　調査結果のまとめと地域づくりへの参画	１つのテーマを設定し、WebGISを用いて統計地図や主題図を作成して発表する	デザイン力

科目名	政治経済	２学年・必修	使用教科書	『政治・経済』東京書籍
		単位数：２単位	使用副教材	『要点マスター　政治・経済　整理と演習』東京書籍

学習目標	現代社会の課題に主体的に向き合い、解決策を構想・表現する力を養う 知識・理解　　：現代の政治・経済・国際関係の仕組みや課題を理解し、社会の動きを把握できる。 思考力・判断力・表現力：政治や経済の制度・仕組みを活用し、社会の課題解決に向けた意見を持ち、表現することができる。 学びに向かう力・人間性：社会の一員として主権者意識と多様な価値観を持ち、民主的な国家や社会の形成に積極的に関与しようとする。
学習方法	・講義形式の授業とグループワーク等を併用して授業を展開します。 ・毎回の授業を大切に、真剣に受講してください。講義を聞く姿勢やグループワークへの参加態度次第で知識の定着具合や思考力の伸び幅に大きな差が出ます。 ・教科書に出てくる用語は漢字でしっかりと書けるように努力しましょう。 ・世界情勢や国内での事件、出来事によって、時事的な内容を授業で扱うことがあります。日頃からメディアに触れ、情報収集に努めましょう。

学習評価	評価の観点		評価の観点の趣旨
	Ⅰ	知識・技能	政治・経済の基本的な仕組みや制度を正しく理解し、現実の社会問題と結びつけて考えることができる
	Ⅱ	思考・判断・表現	事実やデータをもとに考察して課題を分析し、適切な判断や提案ができるか
	Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	社会の課題解決に向けて積極的に取り組み、他者と議論しながら多角的な視点を養おうとしている

他教科との関連性	該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
	福祉社会と日本経済の課題	化学	日本で問題となった公害において、排出された物質が人体にどのような被害をもたらすのかという疑問を化学の分野から考察する。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushirlety 5.0
前期	4／5	第１編第１章 現代日本の政治	14	1　民主政治の基本原理 2　日本国憲法の基本原理 3　日本の政治機構 4　現代社会の特質と課題	日本における民主主義政治の始まりから現代における政治の課題点を理解する	学びに向かう姿勢
	6／7	第１編第２章 現代日本の経済	14	1　現代の資本主義経済 2　現代経済のしくみ 3　福祉社会と日本経済の課題	経済活動を理解するとともに、経済活動を国単位の広い視野と家計単位の狭い視野から分析する思考力を養う	思考・判断・表現力
	8／9	第１編第３章 現代日本の諸課題	6	1　少子高齢社会における社会保障 2　地域社会の活性化 3　多様な働き方・生き方の実現 4　日本の財政の健全化 5　防災と安全・安心な社会の実現	少子高齢化の進む日本において自分たちがどう生きるか考察する	学びに向かう姿勢
後期	9／10	第２編第１章 現代の国際政治	12	1　国際政治の仕組み 2　複雑化する国際政治と日本	現代の国際政治の仕組みを理解し、私たちの生活にどう関わっているかを説明することができるようになる	課題解決能力
	11／12	第２編第２章 現代の国際経済	12	1　国民経済と国際経済 2　世界経済の現状と課題	世界全体の経済を理解し、国際的な貧困や格差是正に関する自分の意見をまとめる	ひらめき力
	1／2／3	第２編第３章 国際社会の諸課題	12	1　グローバル化にともなう社会変容 2　地球環境と資源・エネルギー問題 3　民族問題と紛争の解決 4　持続可能な社会の実現	国際社会の一員として当事者意識をもち、社会の変化の中で絶えず思考し続ける自己を確立する	思考・判断・表現力

科目名	数学Ⅱ	2学年・選択	使用教科書	『数学Ⅱ Progress』実教出版
		単位数：4単位	使用副教材	『エクセル数学Ⅱ　新課程版』実教出版

学習目標

○ 数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。
○ 各内容について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用しようとする。
○ いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習方法

○一斉授業またはグループ学習　※積極的に授業を受けてください。また、予習は個々の判断に任せますが、復習は欠かさないようにしましょう。
○授業の持ち物
・教科書　・副教材　・ノート

学習評価

	評価の観点	評価の観点の趣旨
Ⅰ	知識・技能	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
Ⅱ	思考・判断・表現	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分の考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考える。
Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分の考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。

他教科との関連性

該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
三角関数	物理	「ノイズ・キャンセリングの仕組みを調べよう」 現代は、動画や音楽などを誰でも気軽に楽しめる時代である。ちょっとした空き時間にイヤホンで音楽を聴く人も多いだろう。昨今のイヤホンは音質の良さのみでなく、周りの雑音を消し動画や音楽への没入感を作り出す技術、いわゆる「ノイズ・キャンセリング機能」を売りにしている商品も多い。では、この技術はどのようにして成り立っているのだろうか。音を、空気中を伝わる波の一種として捉えると、その仕組みの一端に触れることができるだろう。あらゆる波は、その表現に正弦曲線（サインカーブ）が用いられている。オシロスコープと三角関数の知識を用いて、波の姿を捉え、「ノイズ・キャンセリング機能」の秘密を解き明かすことができる。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushiriety 5.0
前期	4 5	オリエンテーション 1章　方程式･式と証明 1節　式の計算 2節　複素数と方程式 3節　式と証明	30	･整式の乗法と因数分解 ･二項定理 ･整式の除法 ･分数式とその計算 ･複素数とその演算 ･解の公式 ･解と係数の関係 ･因数定理 ･簡単な高次方程式 ･恒等式 ･不等式の証明	･前期中間考査 【知】【思】 ･小テスト 【知】 ･課題、宿題、ノート提出等 【主】	**思考･判断･表現力**
	6 7 8	2章　図形と方程式 1節　点と直線 2節　円 3節　軌跡と領域	30	･点と直線 ･直線上の点の座標 ･平面上の点の座標 ･内分点･外分点 ･直線の方程式 ･2直線の関係 ･円の方程式 ･円と直線 ･2つの円の位置関係 ･軌跡の方程式 ･不等式の表す領域 ･連立不等式の表す領域		**思考･判断･表現力**
	9	3章　三角関数 1節　三角関数 2節　加法定理	30	･角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること。 ･三角関数とそのグラフの特徴について理解すること。 ･三角関数について、相互関係などの基本的な性質を理解すること。三角関数の加法定理を理解し、それを用いて2倍角の公式を導くこと。	･前期期末考査 【知】【思】 ･小テスト 【知】 ･課題、宿題、ノート提出等 【主】	**思考･判断･表現力**
後期	10 11	4章　指数関数･対数関数 1節　指数関数 2節　対数関数	20	･指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	･後期中間考査 【知】【思】 ･小テスト 【知】 ･課題、宿題、ノート提出等 【主】	**思考･判断･表現力**
	12 1 2 3	5章　微分法と積分法 1節　微分係数と導関数 2節　微分法の応用 3節　積分法	30	･微分積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	･学年末考査 【知】【思】 ･小テスト 【知】 ･課題、宿題、ノート提出等 【主】	**思考･判断･表現力**

科目名	数学B	2学年・選択	使用教科書	『数学B Progress』実教出版
		単位数：2単位	使用副教材	『エクセル数学B+C　新課程版』実教出版

学習目標	（1）数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （2）離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 （3）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
学習方法	○一斉授業またはグループ学習　※積極的に授業を受けてください。また、予習は個々の判断に任せますが、復習は欠かさないようにしましょう。 ○授業の持ち物 ・教科書　・副教材　・ノート

学習評価	評価の観点		評価の観点の趣旨
	Ⅰ	知識・技能	数列または統計的な推測における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。 数列または統計的な推測において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。
	Ⅱ	思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的に考えたりすることなどを通して、数列または統計的な推測における数学的な見方や考え方を身につけている。
	Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	数列または統計的な推測に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

他教科との関連性	該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
	数列	家庭基礎	「リボルビング払いと漸化式」 リボルビング払いという言葉を聞いたことがあるだろうか。これは、クレジットカードの支払い方法のひとつで、毎月の支払額を一定の額に固定して金利とともに返済していく払い方である。つまり、大きな（高額な）買い物をしたいとき、まとまった額のお金が手元になくても支払いができるという点で優れている。・・・しかし良いことばかりではない。金利を支払うということは、実際に購入した代金以上にお金を支払わなければならないということである。○○円の買い物をリボルビング払いで支払うとき、□□月後には総額いくら支払うことになっているのか、ちょっと知るのが恐ろしいそんな事実を、漸化式からn か月後の支払総額を導くことによって瞬時に知ることができる。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushiriety 5.0
前期	4 5	オリエンテーション 1章　数列 1節　数列とその和 2節　いろいろな数列 3節　漸化式と数学的帰納法	16	・いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し、事象の考察に活用すること。 ・等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項及び和を求めること。	・前期中間考査 【知】【思】 ・小テスト 【知】 ・課題、宿題、ノート提出等 【主】	思考・判断・表現力
	6 7		8	・漸化式について理解し、簡単な漸化式で表された数列について、一般項を求めること。また、漸化式を事象の考察に活用すること。 ・数学的帰納法について理解し、それを用いて簡単な命題を証明するとともに、事象の考察に活用すること。		思考・判断・表現力
	8 9		8	・漸化式について理解し、簡単な漸化式で表された数列について、一般項を求めること。また、漸化式を事象の考察に活用すること。 ・数学的帰納法について理解し、それを用いて簡単な命題を証明するとともに、事象の考察に活用すること。	・前期期末考査 【知】【思】 ・小テスト 【知】 ・課題、宿題、ノート提出等 【主】	思考・判断・表現力
後期	10 11 12	2章　統計的な推測 1節　確率分布 2節　正規分布 3節　統計的な推測 3章　数学と社会生活 1節　数学と社会生活	28	・基本の統計的な手法について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	・後期中間考査 【知】【思】 ・小テスト 【知】 ・課題、宿題、ノート提出等 【主】	思考・判断・表現力
	1 2 3	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bを 関連させた問題演習	10	・数学ⅠAⅡBの内容を相互に関連付けた内容の問題演習を通して、生徒の主体的な学習を身に付け、数学的な技能や見方や考え方を習得する。	・学年末考査 【知】【思】 ・小テスト 【知】 ・課題、宿題、ノート提出等 【主】	思考・判断・表現力

科目名	基礎数学	2学年・選択	使用教科書	なし
		単位数：2単位	使用副教材	『高校サブノート数学Ⅰ　新課程版』実教出版編集部、『高校サブノートA　新課程版』実教出版編集部

学習目標	（1）基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （2）事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 （3）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
学習方法	○一斉授業またはグループ学習　※積極的に授業を受けてください。また、予習は個々の判断に任せますが、復習は欠かさないようにしましょう。 ○授業の持ち物 ・必要に応じて1年生の時に使用した教科書、副教材

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	Ⅰ	知識・技能	数学的活動を通して、数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量およびデータの分析、場合の数と確率、整数の性質または図形の性質おける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解するとともに、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の技能を身につけている。
	Ⅱ	思考・判断・表現	数学的活動を通して、数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量およびデータの分析、場合の数と確率、整数の性質または図形の性質における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。
	Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動を通して、数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量およびデータの分析、場合の数と確率、整数の性質または図形の性質における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

他教科との関連性	該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
	データの分析、場合の数と確率	体育	「戦略的に勝つ　～データから最善の策を導き出そう～」 どんなスポーツにも戦略があり、競技レベルが上がれば上がるほどその重要性は増していく。勝利のためには日々鍛錬して、個々人の体力や技術力、チームとしての連携力などを上げていく必要があるのは言うまでもない。しかし、近年は各個人や各試合のデータを詳細に集め、その膨大なデータを分析したうえで確率的に「勝つための最善手」を見つけ出す手法があらゆる競技において研究され、取り入れられている。今やスポーツはデータ戦の様相を呈してきた。数学Ⅰ・Aで学ぶ「データの分析」や「場合の数と確率」の知識を用いることで、今スポーツの世界で起きている進化を感じ取ることができる。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushiriety 5.0
前期	4 5	○オリエンテーション ○数と式、集合と論証、証明の応用方法、発展問題 ○2次関数とその活用方法、他分野との関連問題	12	【学習内容】 ○数学Ⅰ・Aの全範囲	・小テスト 【知】【思】 ・課題、宿題、ノート提出等 【主】	**思考・判断・表現力**
	6 7	○図形と計量と図形の性質の関連問題 ○データの分析の応用方法、発展問題	12			**思考・判断・表現力**
	8 9	○場合の数と確率と他分野との関連問題、その活用方法	12		・小テスト 【知】【思】 ・課題、宿題、ノート提出等 【主】	**思考・判断・表現力**
後期	10 11	○整数の性質とその活用方法、応用問題	10		・小テスト 【知】【思】 ・課題、宿題、ノート提出等 【主】	**思考・判断・表現力**
	12 1 2 3	○全分野を横断した数学の活用、実践問題	24		・小テスト 【知】【思】 ・課題、宿題、ノート提出等 【主】	**思考・判断・表現力**

科目名	物理基礎	２学年・必修	使用教科書	『物理基礎』東京書籍
		単位数：２単位	使用副教材	『新課程　ニューアチーブ　物理基礎』東京書籍

学習目標

物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）　日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
（2）　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
（3）　物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学習方法

授業は生徒と教員とでつくりあげていくものです。自ら進んで課題に挑戦し、些細な疑問、質問、意見等は遠慮せずに聞いて下さい。ただし、私語は厳禁です。その日に習った内容に関しては、必ずその日のうちに教科書を一読し、ワークなどを用いて復習しましょう。中学校までに学習してきた内容もありますが、高校では内容がより深まりますので、一度の授業だけで定着や理解が深まることは難しいです。また、授業では基礎的・基本的な内容を扱いますので、より深く学習したい人は図説やワーク等を各自家庭学習に用いてかまいません。
【授業に持参する物】　□教科書　　□問題集　　□2リングファイル
※　忘れ物は授業前に必ず伝えてください。　　※　授業前には必ず必要な物を机上に準備し、座席に着席してください。

学習評価

評価の観点		評価の観点の概要
Ⅰ	知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
Ⅱ	思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーから問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

他教科との関連性

該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
弦の振動	音楽	弦楽器において、弦の長さ、太さ、張力、弾き方の差によって生じる音階や音色の違いを調べる。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushirlety 5.0
前期	4	オリエンテーション 1編0章　運動とはどのようなものであると考えられたか 1編1章　運動の表し方	7	物体の速さが変化しない運動について、物体の運動を時間・変位・速度を用いて表します。	【評価方法】 ・授業プリント　・定期テストと小テスト ・グループワーク　・レポートなど 【学習目標】 ・身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解する。 ・物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解する。 ・速度が変化する物体の直線運動に関する実験などを行い、速度と時間との関係を見いだして理解するとともに、物体が直線運動する場合の加速度を理解する。	学びに向かう姿勢
	5		7	物体の速度が変化する運動で、速度変化を加速度で表すことを学びます。また、一直線上での物体の運動について、時間・変位・速度・加速度の関係性を見いだします。		情報活用能力
	6	1編2章　さまざまな力とそのはたらき	7	物体にはたらくさまざまな力について理解し、それらの力の大小関係から、物体の運動について見通しをもてるようにします。	【評価方法】 ・授業プリント　・小テスト ・グループワーク　・レポートなど 【学習目標】 ・物体に一定の力を加え続けたときの運動に関する実験などを行い、物体の質量、物体に働く力、物体に生じる加速度の関係を見いだして理解するとともに、運動の三法則を理解する。	思考・判断・表現力
	7	1編3章　力学的エネルギー	4	物体のもつエネルギーについて、物体を動かすのに要した労力の指標である仕事と結びつけて学びます。	【評価方法】 ・授業プリント　・小テスト ・グループワーク　・レポートなど 【学習目標】 ・運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解する。 ・力学的エネルギーに関する実験などを行い、力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解する。	分析・判断力
	8		4	物体がもつ力学的エネルギーが変化する運動と変化しない運動について、それらの違いを保存力という視点から考えます。		ひらめき力
	9	2編0章　さまざまな物理現象の探究 2編1章　熱	7	熱がエネルギーの一形態であることを理解し、エネルギー移動の視点から熱力学第一法則について学びます。	【評価方法】 ・授業プリント　・定期テストと小テスト ・グループワーク　・レポートなど 【学習目標】 ・熱と温度について、原子や分子の熱運動の観点から理解する。 ・熱に関する実験などを行い、熱の移動及び熱と仕事の変換について理解する。	言語力
後期	10	2編2章　波	7	波が一直線上を進む場合について、波形を特徴づける数値である波長・周期・振幅や、2つの波が重なった際に観測される波形について表現します。	【評価方法】 ・授業プリント　・定期テストと小テスト ・グループワーク　・レポートなど 【学習目標】 ・波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解する。 ・気柱の共鳴に関する実験などを行い、気柱の共鳴と音源の振動数を関連付けて理解する。また、弦の振動、音波の性質を理解する。	探究心
	11		7	弦・気柱の振動について、発生する定常波の視点から、音波の発生するしくみについて考えます。		チーム力
	12	2編3章　電気と磁気	8	電気抵抗を微視的な視点で捉え、回路における電圧・電流との関係性を見いだします。	【評価方法】 ・授業プリント　・小テスト ・グループワーク　・レポートなど 【学習目標】 ・電気抵抗に関する実験などを行い，同じ物質からなる導体でも長さや断面積によって電気抵抗が異なることを見いだして理解すること。また，物質によって抵抗率が異なることを理解する。 ・発電、送電及び電気の利用について、基本的な仕組みを理解する。	プランニング能力
	1		4	私たちの身の周りに存在する交流や電磁波について、日常生活への利用例を学びます。		デザイン力
	2／3	2編4章　エネルギーとその利用	8	さまざまな物理現象におけるエネルギー形態の変化について整理します。また、エネルギーを利用する上での課題を考えます。	【評価方法】 ・授業プリント　・定期テストと小テスト ・グループワーク　・レポートなど 【学習目標】 ・人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な観点から理解する。	コミュニケーション能力

科目名	化学	２学年・必修	使用教科書	『化学　Vol.1　理論編』『化学　Vol.2　物質編』東京書籍
		単位数：３単位	使用副教材	『改訂版　リードLightノート化学』数研出版

学習目標

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）　化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
（2）　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
（3）　化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学習方法

1　授業ではワークシートを使用します。ワークシート保存用のフラットファイル等を用意してください。
2　化学基礎よりも深い学習となります。購入した問題集やスタディサプリを活用し、予習復習に取り組んでください。
3　暗記することも必要ですが、それ以上に理屈を大切にしてください。
4　すべての単元において定期考査による評価があります。考査以外での評価については下記を参照してください。

学習評価

	評価の観点	評価の観点の趣旨
Ⅰ	知識・技能	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付いている。
Ⅱ	思考・判断・表現	観察、実験などを行い、科学的に探究している。
Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。

他教科との関連性

該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
有機化学･高分子化合物	歴史	歴史の転換点や戦争には、化学が関わっていることが多い。歴史に化学がどのようにかかわっているのかグループや個人で調べ発表する。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushirlety 5.0
前期	4 5	物質の状態とその変化	15	・状態変化 ・気体の性質 ・固体の構造	【評価方法】 □授業プリント　□小テスト □グループワーク　□レポート　など 【学習目標】 物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解する。また、状態変化に伴うエネルギーの出入り及び状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解する。	探究心
前期	5	溶液と平衡	8	・溶解平衡 ・溶液とその性質	【評価方法】 □授業プリント　□小テスト □グループワーク　□レポート　など 【学習目標】 溶解の仕組みを理解する。また、溶解度を溶解平衡と関連付けて理解する。	探究心
前期	6	化学反応とエネルギー	14	・化学反応と熱・光 ・電池 ・電気分解	【評価方法】 □授業プリント　□小テスト □グループワーク　□レポート　など 【学習目標】 電気エネルギーを取り出す電池の仕組みを酸化還元反応と関連付けて理解する。また、外部から加えた電気エネルギーによって電気分解が起こることを、酸化還元反応と関連付けて理解する。	思考･判断･表現力
前期	6 7	化学反応と化学平衡	14	・反応速度 ・化学平衡とその移動 ・電離平衡	【評価方法】 □授業プリント　□小テスト □グループワーク　□レポート　など 【学習目標】 反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。また、可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動を理解する。	思考･判断･表現力
前期	8 9	無機物質	20	・非金属元素 ・金属元素	【評価方法】 □授業プリント　□小テスト □グループワーク　□レポート　など 【学習目標】 典型元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解する。また、遷移元素の単体と化合物の性質を理解する。	情報収集力
後期	10 11 12	有機化合物	20	・炭化水素 ・官能基をもつ化合物 ・芳香族化合物	【評価方法】 □授業プリント　□小テスト □グループワーク　□レポート 【学習目標】 有機化合物、高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、有機化合物、高分子化合物の性質における規則性や関係性を見いだして表現する。	情報活用能力
後期	1 2 3	高分子化合物	14	・合成高分子化合物 ・天然高分子化合物	【評価方法】 □授業プリント　□小テスト □グループワーク　□レポート 【学習目標】 合成高分子化合物の構造、性質及び合成について理解する。また、天然高分子化合物の構造や性質について理解する。	学びに向かう姿勢

科目名	体育	２学年・必修	使用教科書	なし
		単位数：２単位	使用副教材	なし

学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを 深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 （２）生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 （３）運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う
学習方法	（１）授業前の準備を速やかに行い、チャイムが鳴る前までに必要なものを用意し整列すること。 （２）授業中は、常に危機管理意識をもつこと。 （３）授業中は、自分のみならず他者の健康・安全を確保すること。 （４）授業後の片づけは速やかに行い、次時の授業に遅れないようにすること。 ※ 忘れ物があった場合は、できるだけ早めに伝えに来ること。遅い場合は対応できません。

学習評価	評価の観点		評価の観点の説明
	Ⅰ	知識・技能	（１）運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解している。 （２）上記（１）の技能を身に付けている。
	Ⅱ	思考・判断・表現	（１）生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断している。 （２）自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
	Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	（１）生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとしている。 （２）健康・安全を確保している。

他教科との関連性	該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
	柔道	歴史総合	嘉納治五郎の人生を紐解いていく中で、柔道ができた背景や「自他共栄」「精力善養」について理解し、授業での実践に活かす。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Ciusshiriety 5.0
前期	4	オリエンテーション	1			プランニング能力
	4	ニュースポーツ	6	他国の伝統的・民族的スポーツや、20世紀後半に考案された現代的スポーツに触れ、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を身に付ける。	評価方法 ・観察・出席 学習のポイント ・公正、協力、責任、参加、共生などの社会的態度を大切にする。 ・現在及び将来の実生活、実社会で計画的、継続的に運動やスポーツを実践するための資質能力を身に付ける。	探究心
	4 5	バレーボール	9	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなど多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携したゲームを展開する。	評価方法 ・観察・出席・技能テスト 学習のポイント ・公正、協力、責任、参加、共生などの社会的態度を大切にする。 ・現在及び将来の実生活、実社会で計画的、継続的に運動やスポーツを実践するための資質能力を身に付ける。	コミュニケーション能力
	5 6	バスケットボール	9	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなど多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携したゲームを展開する。	評価方法 ・観察・出席・技能テスト 学習のポイント ・公正、協力、責任、参加、共生などの社会的態度を大切にする。 ・現在及び将来の実生活、実社会で計画的、継続的に運動やスポーツを実践するための資質能力を身に付ける。	チーム力
	7 8	水泳	6	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、浮く、呼吸をする、進むなどの組み合わせによって成立していることを理解し、効率的に泳ぐ。	評価方法 ・観察・出席・技能テスト 学習のポイント ・公正、協力、責任、参加、共生などの社会的態度を大切にする。 ・現在及び将来の実生活、実社会で計画的、継続的に運動やスポーツを実践するための資質能力を身に付ける。	完遂力
後期	9 10	陸上 （長距離）	10	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身に付ける。また、体力の高め方を理解し、自己に適した運動計画を立てる。	評価方法 ・観察・出席 学習のポイント ・公正、協力、責任、参加、共生などの社会的態度を大切にする。 ・現在及び将来の実生活、実社会で計画的、継続的に運動やスポーツを実践するための資質能力を身に付ける。	完遂力
	11 12	卓球	9	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなど多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携したゲームを展開する。	評価方法 ・観察・出席・技能テスト 学習のポイント ・公正、協力、責任、参加、共生などの社会的態度を大切にする。 ・現在及び将来の実生活、実社会で計画的、継続的に運動やスポーツを実践するための資質能力を身に付ける。	分析・判断力
	1 2	スキー	10	スキーを通じて美所の自然に親しみを持つ。スキーの基礎的な技術の向上を目指し、生涯スポーツへの足がかりとする。	評価方法 ・観察・出席 学習のポイント ・公正、協力、責任、参加、共生などの社会的態度を大切にする。 ・現在及び将来の実生活、実社会で計画的、継続的に運動やスポーツを実践するための資質能力を身に付ける。	チャレンジ精神
	3	体育理論	10	運動やスポーツの技術は、運動を通して技能として発揮されるようになることを理解する。	学習のポイント ・公正、協力、責任、参加、共生などの社会的態度を大切にする。 ・現在及び将来の実生活、実社会で計画的、継続的に運動やスポーツを実践するための資質能力を身に付ける。	プランニング能力

科目名	保健	２学年・必修	使用教科書	現代高等保健体育
		単位数：１単位	使用副教材	なし

学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 （２）健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 （３）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
学習方法	基本的には講義形式で行うがグループワークやレポート作成等テーマによって学習形態は適宜変更する。 ・授業中は他と協同し、積極的に対話する授業態度が求められる。 ・持ち物は教科書、ノート、筆記用具とする。ノートは昨年からの継続でよい。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨
	Ⅰ 知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。
	Ⅱ 思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。
	Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

他教科との関連性	該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
	健康を支える環境づくり	政治経済	高度経済成長に当たる時期の日本経済の発展と、それらがもたらした身体への影響を学ぶ。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushiristy 5.0
前期	4	生涯を通じる健康	3	・オリエンテーション ・ライフステージと健康	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。	情報活用能力
	5	生涯を通じる健康	3	・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択	・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・性意識の男女差について例をあげて説明できる。	探究心
	6	生涯を通じる健康	3	・妊娠、出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶	・妊娠、出産の過程における健康課題について説明できる。 ・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。	プランニング能力
	7	生涯を通じる健康	3	・結婚生活と健康 ・中更年期と健康	・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・加齢にともなう心身の変化について例を挙げて説明できる。	プランニング能力
	8	生涯を通じる健康	3	・働くことと健康 ・労働災害と健康	・働くことの意義と健康のかかわりについて説明できる。 ・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。	自己管理能力
	9	生涯を通じる健康 健康を支える環境づくり	3	・健康的な職業生活 ・大気汚染と健康	・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・環境汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。	当事者意識
後期	10	健康を支える環境づくり	3	・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策	・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。	探究心
	11	健康を支える環境づくり	3	・ゴミの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性	・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・我が国における医療保険の仕組みについて説明できる。	当事者意識
	12	健康を支える環境づくり	3	・食品衛生にかかわる活動 ・保健サービスとその活用	・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・保健行政の役割について例をあげて説明できる。	分析・判断力
	1	健康を支える環境づくり	3	・医療サービスとその活用 ・医療品の制度とその活用	・我が国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・医療品の正しい使用法について説明できる。	自己管理能力
	2,3	健康を支える環境づくり	5	・様々な保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加	・国際機関、民間機関などの保健活動についてをあげて説明できる。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。	情報活用能力

科目名	音楽Ⅱ	２学年・選択	使用教科書	『MOUSA２』教育芸術社
		単位数：２単位	使用副教材	『New Recorder Library Basic Lesson & Ensemble』教育出版

学習目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 （2）個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。 （3）主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
学習方法	1　楽譜、ワークシートなどを多く配付します。配付物を整理するために、専用のファイルを用意してください。 2　音楽室にある机や椅子などの備品、リコーダーなどの楽器の取り扱いには、十分注意をしてください。 3　授業に使用する持ち物を忘れた場合は、必ず朝のうちに申し出てください。授業開始直前・授業中では対応できません。 4　歌唱や器楽の演奏実技だけではなく、思いや意図を持って表現する力、積極的に発信する力を重視します。 5　音楽経験等によって得意不得意はあると思いますが、積極的に音楽の活動に取り組んでください。

学習評価	評価の観点		評価の観点の説明
	Ⅰ	知識・技能	①曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ②自己のイメージを持って創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
	Ⅱ	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように音楽で表現するかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
	Ⅲ	主体的に学びに向かう態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

他教科との関連性	該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
	ピタゴラ アンサンブル	物理基礎	リコーダーの管の長さの違いによって生まれる音色の違いから、気中の固有振動の仕組みを理解する。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Ciusshriety 5.0
前期	4	オリエンテーション	1	音楽Ⅱの目標や内容を確認し、１年間の学習の見通しを持つとともに、学習意欲を養う。	音楽Ⅱでの学習内容や学習方法について確認し、今年度の学習の見通しを持ちましょう。	学びに向かう姿勢
	4/5	THE FIRST TAKE	6	【歌唱】音楽の「カバー」の多様性について考え、各自のスタイルを追求し、表現意図を明確にもって歌唱する。	楽曲のアレンジや調性（キー）を考えて、それを生かしてどのように歌っているかを評価します。音楽準備室でレコーディングを予定しています。「一発撮り」が基本ですので、プロ意識を持ち、集中して臨みましょう。	探究心
	5	SOUND RECICLE	7	【創作】サンプリングの技法を用いて、身の回りにあるものから着想を得て、思い思いの創作表現をした楽曲を作曲する。	モノから生まれる音を録音し、曲へとリサイクルする「サンプリング」という技法を用いて、思い思いの創作表現をした作品を作り上げましょう。何気ない音から新たな価値を創造して創作した、創意工夫のこめられた作品をもとに評価します。	情報収集力
	6	tone!Tone!TONE!	8	【器楽】各パートの役割を意識し、表現を工夫してトーンチャイムによるアンサンブルの音びを味わう。	それぞれの役割を意識しながら、整ったリズムと美しい音色を目指してトーンチャイムによる合奏に挑戦します。奥高祭のステージで最終発表を行います。	コミュニケーション能力
	7/8	JUST DANCE!	5	【鑑賞】世界の諸民族の音楽を「身振りを伴う表現」という観点で聴き比べ、音楽と体の動きの特徴やその意味、関係について考える。	世界の諸民族の音楽について、表現の共通性や固有性、社会や文化との関わり等の観点をまとめて作成した成果物の内容をもとに評価します。	他者理解
	9	オペラ座の怪人	4	【鑑賞】「オペラ座の怪人」を鑑賞し、人間関係やストーリーから登場人物の心情を紐解き、ミュージカルにおける音楽の役割について考える。	不朽の名作ミュージカル「オペラ座の怪人」。登場人物の背景や人間関係から、登場人物の複雑な心情を紐解き、ミュージカルにおける音楽の役割・もたらされる効果を理解しているかどうかをワークシートをもとに評価します。	感受性
後期	9/10	NO GUITER, NO LIFE	8	【器楽】クラシック・ギターの音色や奏法を研究し、曲のイメージを意識しながら、ギターを独奏する。	クラシック・ギターについて学び、奏法や楽譜の読み方、楽器の取り扱い方をマスターした上で曲に取り組みます。これらの理解度や技能について、普段の取り組みや最終発表の演奏をもとに評価します。	チャレンジ精神
	11	RhythMix Lab	7	【創作】リズム、メロディー、ベース、ハーモニーを組み合わせ、創意工夫をこらしたEDM（Electronic Dance Music）を創作する。	電子音を用いたダンスミュージック、EDM。これまでよりもより本格的な創作にチャレンジします。短いフレーズを繰り返しながらverse、bridge、hookと曲を展開していきます。難しく考えすぎず、まずは思い思いに打ち込んでみましょう。DAWを活用し、創意工夫のこめられた作品をもとに評価します。	デザイン力
	12	最終発表会に 向けて	7	【歌唱・器楽・創作】これまでの学習を生かして、最終発表会に向け聴衆を感動させるためのコンサートプログラムを検討し、必要な技能を身に付ける。	１月の最終発表会に向けて、発表内容を考え練習します。内容は皆さん次第。履修者で力を合わせていい演奏になるように頑張りましょう。 【過去の演奏プラン】 ボイスアンサンブル、即興演奏、リコーダー重奏、箏、日本歌曲など	当事者意識
	1	最終発表会	5	【歌唱・器楽・創作】最終発表会でこれまでの学習を生かした演奏を発表する。	これまでの集大成として、素晴らしい演奏を期待しています。	完遂力
	2	ピタゴラ・アンサンブル	8	【器楽】音楽の音色の変化や音の重なり方の違いによる曲想の変化がどのような奏法などからきているのかを解明しながら、リコーダーを用いてアンサンブルする。	大きさも音の高さも異なる４種のリコーダーを使ってアンサンブルを行います。創意工夫を生かした演奏表現を伴った演奏になるように練習し、最終発表を行います。	チーム力
	3	映画を彩る音楽	4	【鑑賞】音楽と映画の場面との結びつきを理解し、映画における音楽の役割について考える。	音楽は映画作品に彩りを添える重要な役割を果たしています。「ハリーポッターシリーズ」や「ニュー・シネマ・パラダイス」など、名作映画の劇中音楽の鑑賞を通して、曲想や表現上の効果、音楽と映画の場面との結びつきを理解しているか、ワークシートをもとに評価します。	分析・判断力

科目名	英語コミュニケーションⅡ	２学年・必修	使用教科書	『VISTA English Communication Ⅱ』（三省堂）
		単位数：４単位	使用副教材	『ワードナビ英単語・熟語4500』（啓林館） 『Listening Scope Basic』（いいずな書店）

学習目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、
1　必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
2　必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
3　多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4　多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。
5　多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝えることができる。

学習方法

●基本的にAll Englishで授業を行います。
●英語は自分で考えながら話して、書いて、読んで、聞くことで、学ぶことができます。たくさん間違えて、たくさん学びましょう。
●文法力は英語を使う上での基盤となります。スタディサプリ等で基本を学び、何回も「使う」過程で確実に身に付けましょう。
●発表する際は、原稿を丸暗記するのではなく、話す内容を理解し、流れや要点を押さえて自分の言葉で発表できるよう意識しましょう。
●スタディサプリを活用して、苦手問題を克服したり、検定対策をしたり、大学入試に備えましょう。

学習評価

	評価の観点	評価の観点の趣旨
Ⅰ	知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
Ⅱ	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

他教科との関連性

該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
L7. A Martial Art on Tatami	国語 地歴公民	日本の文化である「百人一首」が海外でも人気であることから、教科横断型学習を通して百人一首が成立した背景や文学的な理解を学び、海外における人気の理由を知ることや異文化交流における百人一首の紹介などを英語で行う。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushiriety 5.0
前期	4	L1. World Dance Performances	12	1. 自己紹介し、質問できる 2. 習熟度を確認する 3. 世界のダンスについて、聞いたり読んだりした概要を理解し、ダンスについて伝えたり、伝え合ったり、書くことができる。	1. 自分を表現する語彙をまとめておきましょう。 2. 自分の伸びしろを確認しよう。 3. 教科書の語彙や表現を覚えながら、概要や要点を理解しておきましょう。また、ダンスについて自己表現できるための語彙や表現を整理しておきましょう。	グロースマインドセット
	5	L2. A Piece of Cake	12	1. 名詞節の使い方を理解し、活用できる。 2. 英語と日本語の慣用句について、聞いたり読んだりした概要を理解し、迷信について伝えたり、伝え合ったり、書くことができる。	1. 自分を表現する語彙をまとめておきましょう。 2. 教科書の語彙や表現を覚えながら、概要や要点を理解しておきましょう。また、迷信について自己表現できるための語彙や表現を整理しておきましょう。	情報活用能力
	6	L3. Quokka	16	1. 知覚動詞と使役動詞の使い方を理解し、活用できる。 2. クォッカについて、聞いたり読んだりした概要を理解し、動物の行動について伝えたり、伝え合ったり、書くことができる。	1. 自分を表現する語彙をまとめておきましょう。 2. 教科書の語彙や表現を覚えながら、概要や要点を理解しておきましょう。また、動物の行動について自己表現できるための語彙や表現を整理しておきましょう。	デザイン力
	7	L4. Designing Stamps	10	1. 形式主語と形式目的語の使い方を理解し、活用できる。 2. 切手デザイナーについて、聞いたり読んだりした概要を理解し、切手について伝えたり、伝え合ったり、書くことができる。	1. 自分を表現する語彙をまとめておきましょう。 2. 教科書の語彙や表現を覚えながら、概要や要点を理解しておきましょう。また、切手について自己表現できるための語彙や表現を整理しておきましょう。	感受性
	8	L5. Mont-Saint-Michel	10	1. 現在完了進行形の使い方を理解し、活用できる。 2. モンサンミシェルについて、聞いたり読んだりした概要を理解し、モンサンミッシェルと旅行について伝えたり、伝え合ったり、書くことができる。	1. 自分を表現する語彙をまとめておきましょう。 2. 教科書の語彙や表現を覚えながら、概要や要点を理解しておきましょう。また、モンサンミッシェルと旅行について自己表現できるための語彙や表現を整理しておきましょう。	情報収集力
	9	L6. Smart Agriculture	16	1. 過去完了形の使い方を理解し、活用できる。 2. スマート農業について、聞いたり読んだりした概要を理解し、スマート農業と科学技術について伝えたり、伝え合ったり、書くことができる。	1. 自分を表現する語彙をまとめておきましょう。 2. 教科書の語彙や表現を覚えながら、概要や要点を理解しておきましょう。また、スマート農業と科学技術ついて自己表現できるための語彙や表現を整理しておきましょう。	思考・判断・表現力
後期	10	L7. Martial Art on Tatami	16	1. 関係代名詞の使い方を理解し、活用できる。 2. 競技かるたについて、聞いたり読んだりした概要を理解し、日本文化について伝えたり、伝え合ったり、書くことができる。	1. 自分を表現する語彙をまとめておきましょう。 2. 教科書の語彙や表現を覚えながら、概要や要点を理解しておきましょう。また、日本文化ついて自己表現できるための語彙や表現を整理しておきましょう。	自己管理能力
	11	L8. Biologging	16	1. 分詞構文と強調構文の使い方を理解し、活用できる。 2. バイオロギングについて、聞いたり読んだりした概要を理解し、生物や記録計について伝えたり、伝え合ったり、書くことができる。	1. 自分を表現する語彙をまとめておきましょう。 2. 教科書の語彙や表現を覚えながら、概要や要点を理解しておきましょう。また、生物や記録計ついて自己表現できるための語彙や表現を整理しておきましょう。	課題解決能力
	12	ライティング演習	15	一定の題について、「つながり」と「まとまり」のある英文を書くことができる。抽象と具体、接続詞の使い方などを理解し、自身のライティング能力を向上させる。	パラグラフライティングをする機会を設けますので、論理の流れを言葉で表現できるように語彙や表現を整理しておきましょう。文法を理解して、表現につなげましょう。	情報収集力
	1 2 3	リスニング・リーディング演習	17	日常的および社会的な話題について、概要や要点を目的に応じて把握することができる。（英検３級から準２級レベル）	ディクテーションを含むリスニング活動を集中的に行う機会を設けますので、概要や要点を目的に応じて把握できるように、日々の音読活動や語彙学習に関連付けて総合的にリスニング能力を育成しましょう。 また、リーディング演習では情報把握問題や速読・長文読解などを演習形式で取り扱います。自分の進捗に応じた難易度の問題に取り組めるよう、語彙学習などを並行して行いましょう。	情報活用能力
通年常活動	4～3	必携英単語LEAP Basic	各授業15分程度	音読や小テストを通じて、４技能の基礎となる語彙の習得を目指す。	【評価方法】 語彙力については年間計画表に記載されたスケジュールで行われる小テストに向けて満点をとろう。 【学習のポイント】 日常的に英語を使うことによって語彙を身につけていきましょう。使うことによって身につきます。また、授業中に行われるペアワークの時間を有効に活用しましょう。	実践力
		ロールプレイ等	各授業15分程度	与えられた題について自分の意見を述べたり、役割に応じてロールプレイを行うことで、ディベートにつながる基礎力を養う。 絵を描写したり、説明をしたり、自分の意見を簡単な英語で述べることができる。	【評価方法】 毎回は記録に残す評価は行いません。定期的に行うスピーキングテストで身についた能力を測ります。 【学習のポイント】 発表の後は、振り返りの時間をとることがあります。言えたこと、言いたかったけど言えなかったことをメモし、調べることで少しずつ話せる英語が増えていきます。	グロースマインドセット

科目名	論理・表現Ⅰ	２学年・選択	使用教科書	『MY WAY Logic and Expression I』（三省堂）
		単位数：２単位	使用副教材	『マイウェイ総合英語』（三省堂）

学習目標	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1　基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 2　基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 3　基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
学習方法	・基本的にAll Englishで授業を行います。 ・英語は自分で考えながら話して、書いて、読んで、聞くことで、学ぶことができます。たくさん間違えて、たくさん学びましょう。 ・実際に書くことや話すことを通して、英語の文構造や語彙、表現を身に付けます。 ・英語の論理構造を学び、マインドマップなどを使いながら自分の考えや意見を論理的に述べる力を身に付けます。

学習評価	評価の観点		評価の観点の趣旨
	Ⅰ	知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
	Ⅱ	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
	Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

他教科との関連性	該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
	Lesson 5 Welcome to Our Town	総合的な探究の時間	「パブリシティ本部」「町おこし」等の探究活動の中で学んだ奥尻の生活や観光資源、島の未来などについて英語で話すことができるよう、語彙や表現について学びます。また、「論理・表現」が「話すこと［やり取り］」、「話すこと［発表］」、「書くこと」を中心とした発信能力の育成を強化する指導を行う科目であることから、この科目で培った力は、町おこしワークショップでのプレゼンテーションで生かされるでしょう。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushiriety 5.0
前期	4	Lesson 1 Let’s Talk about Ourselves	5	1. 初対面の挨拶の表現を学ぶ。 2. 現在形を使って自分の好みや趣味について表現する。	1. 自分を表現する語彙をまとめておきましょう。特に、他者の自己紹介を聞いて、よいところは積極的に真似しましょう。 2. エクササイズにも積極的に取り組み、正確性を向上させましょう。	他者理解
	5	Lesson 2 School Life	7	1. 好きだった教科について会話する。部活動を紹介する記事の原稿を書く。 2. ライティングの基本を学び、30語程度の英文を書けるようにする。 3. 過去形や現在進行形、過去進行形を使って表現する。	1. 中学時代の学校生活を表現する語彙をまとめておきましょう。 2. 一文を加えて、会話を続ける工夫をできるようにしましょう。 3. 各自の地元の中学校や小学校を紹介する活動を行います。ユニークな取り組みや、その土地ならではの行事等を表現できるよう、まとめておきましょう。	情報収集力
	6	Lesson 3 The Arts	7	1. 週末の予定について会話をする。好きな絵について発表する。 2. すぐに答えられないときのつなぎ言葉について学ぶ。聞き手の注意を引く方法を学ぶ 3. 未来表現を使って表現する。基本時制について確認する。	1. フィラーを会話に盛り込むことで、円滑な会話ができるようにしましょう。 2. 自分の好きなアート作品について発表する活動を行います。クラスメイトの発表をよく聞き、質問や感想が言えるようにしましょう。	傾聴力
	7	Lesson 4 Food and Culture	3	1. 料理を注文するときのいろいろな表現を学ぶ。 2. 世界の食文化を紹介するレポートを書く。 3. 現在完了,現在完了進行形を使って表現する。	1. レストランで注文するときの会話をロールプレイで行います。 2. 世界の食文化を紹介するレポートを書く活動をします。興味のある国の食文化についてあらかじめ調べておきましょう。	探究心
	8	Lesson 5 Welcome to Our Town	3	1. 道案内の会話をする。地域の特徴やマスコットキャラクターについて発表する。 2. 場所を詳しく説明する表現を学ぶ。因果関係を表す。 3. 助動詞を使って表現する。受動態を使って表現する。	1. 道案内に使える表現を使って、実際に道案内にチャレンジしましょう。 2. 総合的な探究の時間で取り組んだ内容について、英語でも発表してみましょう。	実践力
	9	Lesson 6 Traveling Abroad	7	1. 買い物の会話をする。旅行先から友達へメールを書く。 2. 買い物で使えるいろいろな表現を学ぶ。手紙やメールのいろいろな表現を学ぶ。 3. 不定詞を使って表現する。	1. 買い物をするときの表現や、お勧めのものを伝える表現を使って会話しましょう。 2. 旅行先でのことを、クラスメイトにメール形式で書いて伝える活動を行います。また、それに対する返信も書きます。	デザイン力
後期	10	Lesson 7 Sports	7	1. スポーツの試合について会話をする。 2. Guess who gameを楽しむ。 3. 動名詞を使って表現する。分詞による後置修飾、分詞構文を使って表現する。	1. 自分が観たスポーツや体育祭でのことについてクラスメイトと会話しましょう。 2. オリジナルのGuess whoクイズを作り、クラスメイトと楽しみましょう。	コミュニケーション能力
	11	Lesson 8 Everyday Technology	7	1. 紙の本と電子書籍のよさについて会話をする。 2. 相手の意見を受け入れてから、主張する。複数の理由を列挙する。 3. 比較を使って表現する。	1. ディベートのチャレンジします。相手の意見を受け入れてから主張をするという方法や、相手を納得させるだけの、根拠のある意見の述べ方を学びましょう。 2. 比較の表現を適切に利用して、身近なことについて伝え合えるようにしましょう。	分析・判断力
	12	Lesson 9 Take Care	7	1. 病院での会話をする。自分の健康状態について伝える。 2.マインドマップを使いながら、自分の考えを整理して発表する。 3. 関係代名詞を使って表現する。	1. 病院受診の表現や自分の体調を伝える表現を身に付けましょう。 2. マインドマップを使って自分の考えを整理し、論理的に伝える方法を学びましょう。	思考・判断・表現力
	1	Lesson 10 SDGs ― Take Action	5	1. SDGsについて、自分が最も大切だと思う項目について会話をする。 2. SDGsについてポスターセッションを行う。 3. 関係副詞と仮定法を使って表現する。	1. SDGsのトピックについての背景知識に加えて、どのように自身が生活してきたいかも同時に考えましょう。 2. SDGsの17の項目の中で、自分が最も行動しなければいけないと考える項目について発表しましょう。	当事者意識
	2		6			プランニング能力
	3	友だちに感謝のメッセージを送ろう ―Words of Thanks	6	感謝の思いを伝える表現を学び、実際に友だちや家族、先生にメッセージを書く。	１年を振り返りながら、友達や家族、先生に感謝の気持ちを英語で伝えてみよう。日本語で伝えるのは恥ずかしいことでも、英語なら言えるかもしれません。	思いやり

科目名	英語研究	２学年・選択	使用教科書	
		単位数：２単位	使用副教材	『Watching Joyful 2024-2025』（浜島書店） 『最新英語入門』（浜島書店）

学習目標	多様な言語活動と演習をとおして外国語の基本的な運用方法を定着させるとともに、日常生活や現代社会などの身近な話題について外国語を用いて学習し、外国語を統合的に活用できる資質・能力を育成することを目指す。
学習方法	・英語は自分で考えながら話して、書いて、読んで、聞くことで、学ぶことができます。たくさん間違えて、たくさん学びましょう。 ・教材のテーマに関する英単語について、授業内だけでなく自己学習を通して習得しましょう。単語を読んだり聞いたりするだけでなく、実際に使うことが重要です。 ・文法力は実際に活用することで伸ばすことができます。問題演習などを通して利用する機会を増やしましょう。 ・発表する際は、原稿を丸暗記するのではなく、話す内容を理解し、流れや要点を押さえて自分の言葉で発表できるようにしましょう。 ・授業内での学習にとどまらず、学習内容の予復習を通して主体的な学びを実現し、興味関心を深めることが重要です。

学習評価	評価の観点		評価の観点の趣旨
	Ⅰ	知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
	Ⅱ	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
	Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

他教科との関連性	該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
	（Watching Joyful） 6. Avantgardey	音楽	現代芸術として若年層に人気である「アバンギャルディ」を題材として、海外でも人気を博している理由を英語を用いて学ぶほか、海外でも活躍している日本のアーティストについて英語を用いて論理的に発表する。また、芸術の観点からアバンギャルディがどのような特徴があるのかを学ぶ。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushiriety 5.0
前期	4	1.Oda Tokito 1. 語順に注意／2. be動詞とhave	5	海外で活躍する小田選手について英語で理解し、自分の好きなスポーツについて英語で説明する。 英語と日本語の語順が異なることに注目するほか、be動詞やhaveの運用方法について復習する。	【評価方法】 音読テスト、小テスト、説明文作成、パフォーマンステスト 【ポイント】 その分野で多用される語彙や表現方法を学びましょう。 英文法の基本事項を復習し、活用できるようにしましょう。	グロースマインドセット
	5	2. Capsule Toy Boom 3. 一般動詞	6	カプセルトイがブームになっていることについて英語で理解し、理想のカプセルトイについて英語で発表する。 一般動詞の活用について復習する。	【評価方法】 音読テスト、小テスト、説明文作成、パフォーマンステスト 【ポイント】 その分野で多用される語彙や表現方法を学びましょう。 英文法の基本事項を復習し、活用できるようにしましょう。	ひらめき力
	6	3. Technology Creates New Sports 4. 疑問文(1)と否定文／5. 疑問文(2)	8	現代技術を使った新スポーツについて英語で理解し、好きなゲームについて英語で説明する。 平叙文以外の文の種類について復習する。	【評価方法】 音読テスト、小テスト、説明文作成、パフォーマンステスト 【ポイント】 その分野で多用される語彙や表現方法を学びましょう。 英文法の基本事項を復習し、活用できるようにしましょう。	言語力
	7	4. Market in Okinawa 6. 助動詞／7. There is[are] ～と命令文	4	沖縄の市場について英語で理解し、奥尻の観光名所について英語で発表する。 助動詞の運用方法とThere is構文と命令文について復習する。	【評価方法】 音読テスト、小テスト、説明文作成、パフォーマンステスト 【ポイント】 その分野で多用される語彙や表現方法を学びましょう。 英文法の基本事項を復習し、活用できるようにしましょう。	プランニング能力
	8	5. River of Five Colors 8. 3つの時制	4	コロンビアに存在する川について英語で理解し、世界の絶景について英語で説明する。 英文法における3つの時制の活用について復習する。	【評価方法】 音読テスト、小テスト、説明文作成、パフォーマンステスト 【ポイント】 その分野で多用される語彙や表現方法を学びましょう。 英文法の基本事項を復習し、活用できるようにしましょう。	探究心
	9	6. Avantgardey 9. 進行形／10.現在完了形と現在完了進行形	8	現代芸術として若年層に人気である「アバンギャルディ」について英語で学ぶほか、海外でも活躍している日本のアーティストについて英語で発表する。 進行形と完了形について復習する。	【評価方法】 音読テスト、小テスト、説明文作成、パフォーマンステスト 【ポイント】 その分野で多用される語彙や表現方法を学びましょう。 英文法の基本事項を復習し、活用できるようにしましょう。	情報収集力
後期	10	7. Breakfast in Vietnam 11.受け身の文／12.比較	8	日本と海外における朝食の違いについて英語で学び、自分が行きたい国について論理的に説明する。 受動態や比較級について復習する。	【評価方法】 音読テスト、小テスト、説明文作成、パフォーマンステスト 【ポイント】 その分野で多用される語彙や表現方法を学びましょう。 英文法の基本事項を復習し、活用できるようにしましょう。	分析・判断力
	11	8. The Hakone Ekiden 13.現在分詞と過去分詞／14.動名詞	8	箱根駅伝の魅力や歴史について英語で学び、スポーツの持つ魅力や利点について英語で議論する。 分詞の扱いや動名詞について復習する。	【評価方法】 音読テスト、小テスト、説明文作成、パフォーマンステスト 【ポイント】 その分野で多用される語彙や表現方法を学びましょう。 英文法の基本事項を復習し、活用できるようにしましょう。	発信力
	12	9. Things Turn Green on St. Patrick's Day 15.不定詞(1)／16.不定詞(2)	4	アイルランドの祝日について英語で学び、世界のお祭りについて英語で発表する。 不定詞の運用法について復習する。	【評価方法】 音読テスト、小テスト、説明文作成、パフォーマンステスト 【ポイント】 その分野で多用される語彙や表現方法を学びましょう。 英文法の基本事項を復習し、活用できるようにしましょう。	情報収集力
	1	10. Hedgehogs 17.関係代名詞	2	ハリネズミの生態について英語で学び、動物の危険回避行動について英語で説明する。 関係代名詞の活用について復習する。	【評価方法】 音読テスト、小テスト、説明文作成、パフォーマンステスト 【ポイント】 その分野で多用される語彙や表現方法を学びましょう。 英文法の基本事項を復習し、活用できるようにしましょう。	当事者意識
	2	11. Unique Music Band, Gominzoku 18.接続詞／19.前置詞	6	民族楽器などを演奏するバンドについて英語で学び、環境問題への取り組みについて英語で議論する。 接続詞と前置詞の活用について復習する。	【評価方法】 音読テスト、小テスト、説明文作成、パフォーマンステスト 【ポイント】 その分野で多用される語彙や表現方法を学びましょう。 英文法の基本事項を復習し、活用できるようにしましょう。	デザイン力
	3	12. The History of Fireworks 20.熟語など／21.仮定法	7	日本の伝統文化である花火の歴史について英語で学び、日本の伝統的な風習について英語で発表する。 英熟語や仮定法について復習する。	【評価方法】 音読テスト、小テスト、説明文作成、パフォーマンステスト 【ポイント】 その分野で多用される語彙や表現方法を学びましょう。 英文法の基本事項を復習し、活用できるようにしましょう。	グロースマインドセット

科目名	奥尻創生アプリ学Ａ	２学年・選択	使用教科書	
		単位数：２単位	使用副教材	

学習目標	奥尻町の社会的課題の克服に寄与することを目的とした基礎レベルのアプリ作成やプログラミング能力を養う。 1．アプリの作成に対して、計画を立て、データ構造や手順を決定し、作成・修正を繰り返すといったプログラミングの過程の基礎を学ぶ。 2．プログラミングを通して、論理的思考力や知識・情報を整理して分析する力を養う。
学習方法	□授業の持ち物 筆記用具、ファイル　※その他、必要なものがある場合は事前に連絡します。 □必要に応じて、予習・復習を行ってください。今のところ、基本的なアルゴリズム・HTML・CSS・JavaScript・Python・Scratchなどについて学習していく予定です。ただし、状況や実装したい機能に応じて変更になる可能性があります。その場合は、その都度授業内で連絡します。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	Ⅰ	知識・技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
	Ⅱ	思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて思考を深め、適切に判断し、表現している。
	Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技能を活用し、社会の情報科の進展に主体的に対応しようとする。

他教科との関連性	該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
	Scratch	音楽Ⅱ	「ScratchでMake Tunes!」 ScratchとはScratch財団がマサチューセッツ工科大学（MIT）メディアラボ ライフロングキンダーガーデングループ（MIT Media Lab Lifelong Kindergarten Group）と共同開発する、8~16歳のユーザーをメインターゲットにすえた無料の教育プログラミング言語及びその開発環境である（Wikipediaより）。プログラムブロックを組み立てていくことで初心者でも手軽にプログラムを作成することができる。簡単なだけでなく機能も充実しており、音楽に関わるプログラムブロックもあるので、音楽的な発想をプログラミングで表現することが可能になっている。Scratchを利用することで、楽しく試行錯誤しながら音楽とプログラミングの両方に慣れ親しむことができる。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushiriety 5.0
前期	4 5	オリエンテーション プログラミングの基礎 アルゴリズムの基礎	11	・オリエンテーション（パソコンの操作方法の確認、実習で使用するエディタの確認等） ・プログラミング言語の概要の確認 ・簡単なアルゴリズムの確認	・１年間の授業の流れを知る ・プログラミングの基礎を身に付ける ・アルゴリズムの基本的な知識を身に付ける	思考・判断・表現力
前期	6 ~ 9	プログラミング実践（Scratch・HTML・CSS・JavaScript・Python等） 3Dモデリング実践	24	【学習内容】 ・アルゴリズムの基本 ・HTML、CSS（マークアップ言語）の基本 ・Scratch、JavaScript、Python（プログラミング言語）の基本 ・CADソフトを利用した3Dモデルの作成と3Dプリンタでの出力	【学習のポイント】 ・奥尻島の課題にアプローチする姿勢が授業中常に求められます。毎時間「奥尻島をより良くしていく」という視点をもって授業を受けてください。 ・まず、プログラミングに興味をもつことが非常に大切です。 ・無料で利用できるプログラミングのサイトなども多いので学校外の時間でも自分でプログラムを書いてみてください。 ・他人のものをコピーすることは一般的には良しとされませんが、プログラミングの場合には構いません。先人の知恵をありがたく利用しましょう。ただし、使用が許可されないことも当然あるため使用前に確認は必ずしましょう。 ・プログラムはこまめに上書き保存をし、実行しましょう。ため込むと突然データが失われたり、エラーの原因が特定しづらくなります。 ・エラーは英文で書かれており、非常に面倒ですが必ず読みましょう。なぜエラーなのか、原因がわかります。 ・プログラミングでは基本キーボードの全角入力は使用しません。常に半角での入力を心がけましょう。全角での入力はエラーの原因になる上に、後からのエラーの特定が非常に困難になります。 ・授業で扱えるプログラミング言語はほんの一部であり、世の中には無数のプログラミング言語があります。ぜひ、積極的に調べ、挑戦してみてください。	実践力
後期	10 ~ 3		35			

科目名	家庭基礎	２学年・必修	使用教科書	『agenda　家庭基礎』実教出版
		単位数：２単位	使用副教材	

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 （３）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
学習方法	１　毎回の授業でワークシートを配布します。保存するためのファイルを用意しておいてください。 ２　「考える活動」が中心になります。グループで課題解決を目指す活動も多いです。自身をもって自分の考えを発表できるようになりましょう。 ３　ワークシートは毎回回収し、評価の参考資料とします。感じたこと、考えたことはどんどん書き込んでください。 ４　調理実習では、エプロン、三角巾、またはそれに準ずるものが必要になります。各自用意しておいてください。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	Ⅰ	知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解し、それらに係る技能を身に付けている。
	Ⅱ	思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力がある。
	Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとしている。

他教科との関連性	該当する単元（教材）	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例（連携授業を行う場合はその内容）
	食生活と健康	地理	地理において世界の文化、とりわけ食文化について、知るだけでなく実際に調理、再現する。家庭科においては、単に調理をするだけでなく、中国料理の文化等を学習することで味付けの工夫等につながる。

学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okushirlety 5.0
前期	4	生涯の生活設計	4	人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを学ぶ。生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考える。	・人の一生を生涯発達の視点で捉え、各ライフステージの特徴などと関連を図ることが重要である。 ・WS、授業への取り組み状況、プレゼンの内容から評価する。	デザイン力
	5	青年期の自立と家族・家庭	5	青年期の課題について学び、自立や自分らしく生きることについて考える。また近年の家庭・家族が抱える課題について学び、自分なりの理想の家族、家庭生活を考える。	・現在、これからの自分の生き方について考える機会になるため、真剣に考え将来につなげてほしい。 ・WS、授業への取り組み状況、レポートから評価する。	メタ認知
	5 6	子どもの生活と保育	10	乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について学ぶ。 子どものお菓子作りというテーマのもと調理実習を行う。	・今は子どもを作る気のない人も無関係ではないことを理解し、学習に取り組むこと。 ・WS、授業への取り組み状況、小テストから評価する。	思いやり
	7 8	高齢期の生活と福祉	8	高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について学ぶ。高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察する。	・自分もいつかは高齢者になる。実際にそのときのことを想像しながら学習に取り組むこと。 ・WS、授業への取り組み状況、小テストから評価する。	自己管理能力
	9	共生社会と福祉	5	生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について学ぶ。家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考察する。	・自助、共助、公助の考え方、重要性をしっかりと学んでほしい。 ・WS、授業への取り組み状況から評価する。	他者理解
後期	10 11	食生活と健康	16	ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について衛生管理とあわせて学ぶ。調理計画や献立制作について学び、全３回の調理実習を行う。	・調理計画の作成においては、限られた食材の中でどういった工夫ができるかを考えることで、食材の特徴等を学ぶことができる。 ・WS、授業への取り組み、技能テストから評価する。	情報活用能力
	12 1	生活における経済の計画	10	家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について学ぶ。生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察する。	・保険、預金、投資信託、株式、暗号資産等の金融商品についての知識をつけ、自分に合った資産運用を模索する。 ・WS、授業への取り組みから評価する。	チャレンジ精神
	2	消費行動と意思決定	4	消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて学ぶ。	・消費行動における意思決定について、SDGｓと関連付け、商品選択の視野を広げていく。 ・WS、授業への取り組みから評価する。	自己管理能力
	2	住生活と住環境	4	ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。	・生涯を通して防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫することができるようにする。 ・WS、授業への取り組みから評価する。	デザイン力
	3	衣生活と健康	4	ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について学ぶ。被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫する。	・被服の機能と着装及び安全、環境に配慮した被服の計画・管理など衣生活に関わる基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、生涯を通して健康で快適な衣生活を営むことができるようにする。 ・WS、授業への取り組みから評価する。	探究心